

# 株式会社 藤商事

## 2007年3月期 決算説明会資料

2007年5月

代表取締役社長 松元 邦夫



パチンコ・パチスロメーカー  
**FUJI**

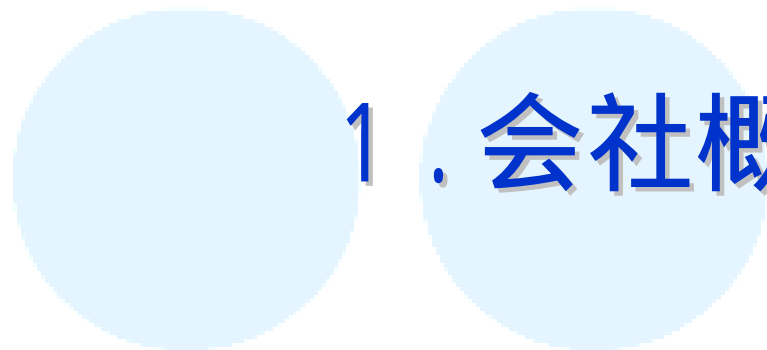
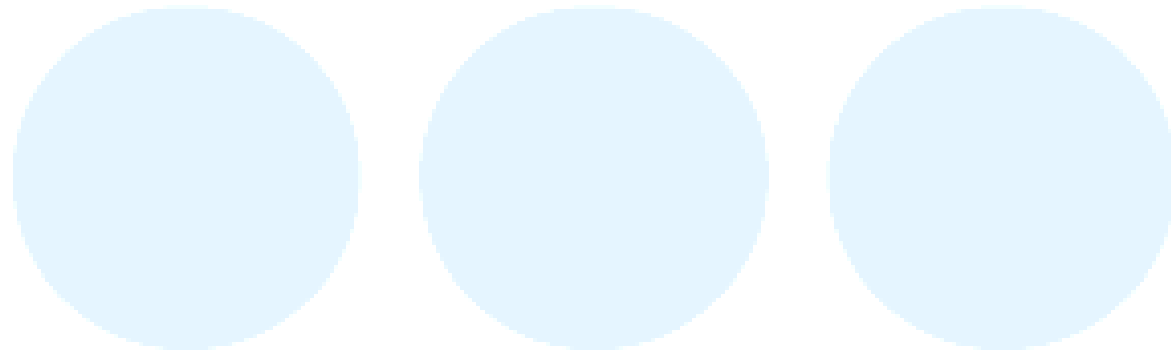
<http://www.fujimarukun.co.jp/>

**JASDAQ**  
証券コード 6257

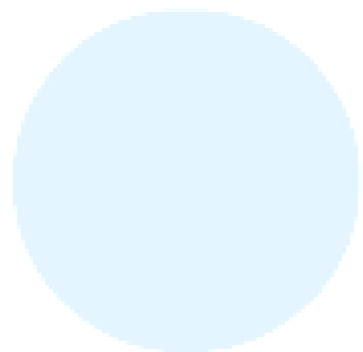


# 株式会社藤商事 決算説明会資料

1. 会社概要 ..... P 2 ~ 7
2. 決算概要 ..... P 8 ~ 15
3. 当社の強み ..... P 16 ~ 21
4. 今後の方針 ..... P 22 ~ 27
5. 業績計画 ..... P 28 ~ 31



# 1. 会社概要



FUJI



# 1. 会社概要 会社基本情報



本社外観

社 名 : 株式会社 藤商事  
設 立 : 1966(昭和41)年10月  
代 表 者 名 : 代表取締役社長 松元 邦夫  
資 本 金 : 32億8千1百万円 (2007年3月31日現在)  
売 上 高 : 394億4百万円 (2007年3月期)  
従 業 員 数 : 358名 (2007年3月31日現在)  
事 業 内 容 : パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の  
開発・製造・販売

## 企業理念

お客様の繁栄を売ろう  
より良い稼働 より高い信頼

## 経営方針

顧客満足度を高めよう  
社員満足度を高めよう  
社会貢献度を高めよう

## 行動指針

顧客ニーズに合った商品とサービスを提供しよう  
仕事を通じての社員の成長と自己実現を図ろう  
社会の発展への寄与と共存共栄の精神に努めよう

## ISO 9001 品質方針

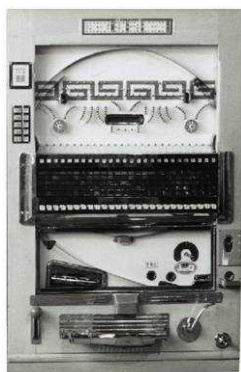
Quick	より機敏に行動する
Quest	より深く探求する
Quality	より品質の向上を追求する

# ● 主な沿革



- 1966年10月 じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月 アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年 1月 パチンコ遊技機事業に参入。パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 1992年 4月 アレンジボール遊技機「アレジン」、「エキサイト」ヒット
- 2003年 9月 パチスロ遊技機事業に参入。パチスロ遊技機の生産および販売を開始
- 2003年11月 「CRサンダーバード2」パチスロ遊技機「サンダーバード3」発売
- 2004年 3月 「CR暴れん坊将軍」発売
- 2006年10月 「CR暴れん坊将軍2」発売
- 2007年 2月 ジャスダック証券取引所に上場

## 当社遊技機の変遷



じゃん球遊技機



アレンジボール遊技機  
エキサイト



アレンジボール遊技機  
アレジン



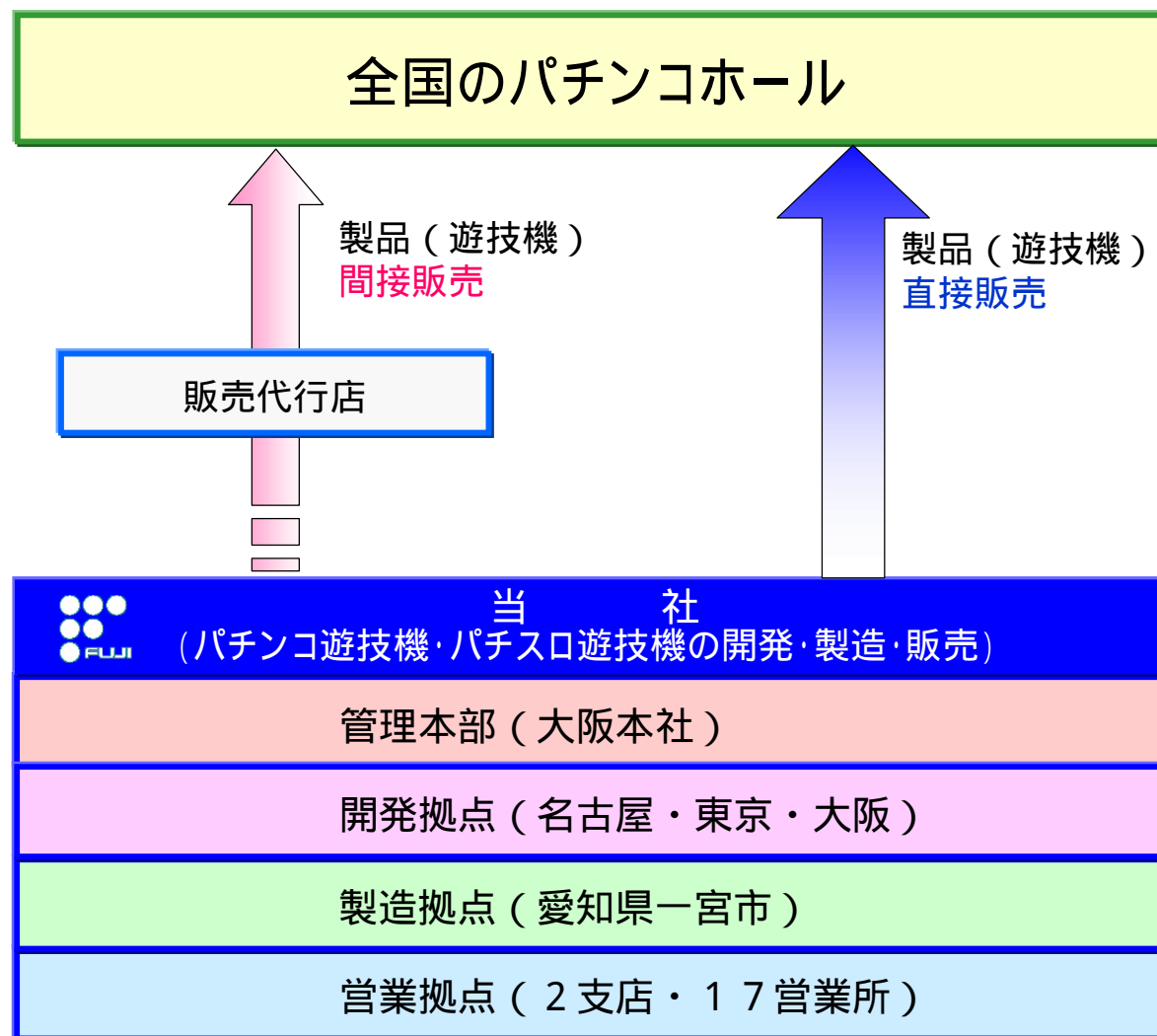
パチンコ遊技機  
CRサンダーバード2



パチスロ遊技機  
サンダーバード3



パチンコ遊技機  
CR暴れん坊将軍2



(株)JFJ(非連結子会社) (株)サンタエンタテイメント(持分法非適用関連会社)

# 地域展開の状況



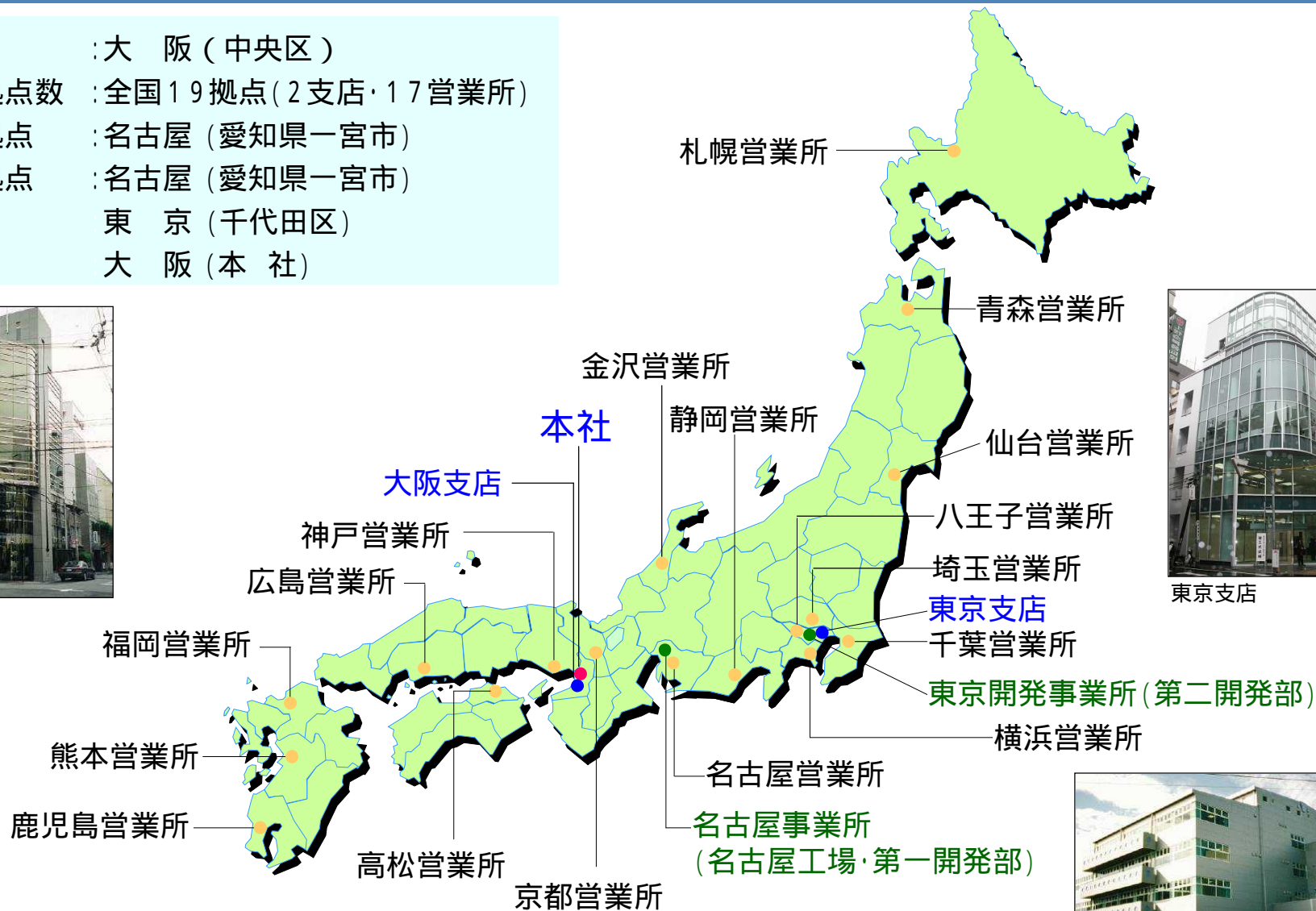
本社 : 大 阪 ( 中央区 )  
 営業拠点数 : 全国 19 拠点 ( 2 支店 · 17 営業所 )  
 製造拠点 : 名古屋 ( 愛知県一宮市 )  
 開発拠点 : 名古屋 ( 愛知県一宮市 )  
           東 京 ( 千代田区 )  
           大 阪 ( 本 社 )



大阪支店

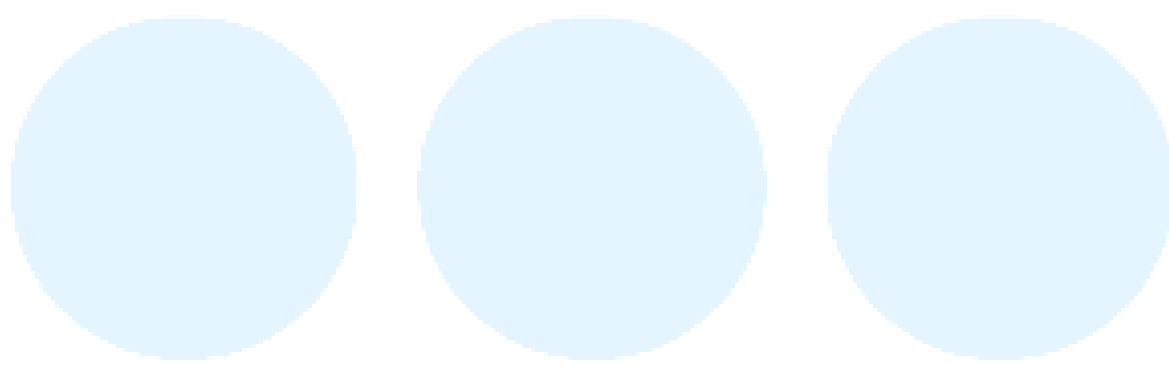


東京支店

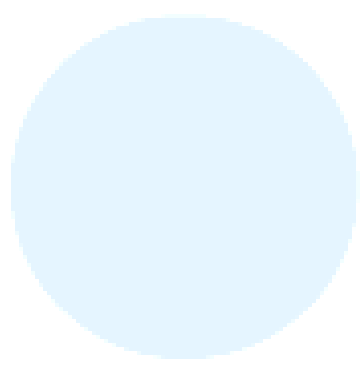


名古屋事業所





2 . 2007年3月期 決算概要



FUJII



販売台数	2006年3月期		2007年3月期		
		構成比		構成比	対前期比増減率
パチンコ	185千台	100.0%	180千台	98.3%	2.7%
パチスロ	0台	---	3千台	1.7%	---
計	185千台	100.0%	183千台	100.0%	1.1%

	2006年度3月期		2007年3月期	
	機種名	販売台数	機種名	販売台数
パチンコ 遊技機	C R 渡り鳥AKIRA	51千台	C R 暴れん坊将軍 2	48千台
	C R 杉様のこれにて大当り	39千台	C R マツケンサンバ	38千台
	C R 赤胴鈴之助	30千台	C R 大江戸捜査網	29千台
	C R ドルフィンダイブ	28千台	C R ゲゲゲの鬼太郎 3 (前期発売)	16千台
	C R キョンシー	22千台	C R サンダーバード	16千台
	C R ゲゲゲの鬼太郎 3	15千台	C R リング	16千台
			C R ピンクパンサー	12千台
			その他機種	5千台
	合計	185千台	合計	180千台
パチスロ 遊技機	発売機種なし	---	サンダーバードネオXX	3千台
			パチスロ暴れん坊将軍	



## パチンコ遊技機



© SANKI PROMOTION  
C R マツケンサンバ



© and ©1984, 1999 and 2006 ITC Entertainment Group Limited.  
THUNDERBIRDS is a Gerry Anderson Production. Licensed by Granada Ventures.  
C R サンダーバード



©1964, 1999 and 2006 ITC Entertainment Group Limited.  
Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved.  
C R ピンクパンサー



©テレビ朝日・東映  
C R 暴れん坊将軍 2



©1998「リング」[らせん]製作委員会  
C R リング

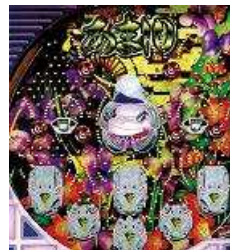


©テレビ東京  
©杉友  
C R 大江戸捜査網

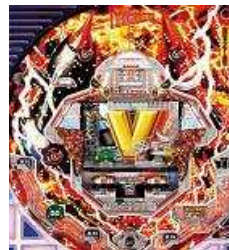
## 遊べるタイプ(甘デジ・羽根物)



© and ©1984, 1999 and 2006 ITC Entertainment Group Limited.  
THUNDERBIRDS is a Gerry Anderson Production. Licensed by Granada Ventures.  
C R A サンダーバード W



C R あま 1 0



©ITC  
C R A サンダーバードウイング

## パチスロ遊技機



© and ©1984, 1999 and 2006 ITC Entertainment Group Limited.  
THUNDERBIRDS is a Gerry Anderson Production. Licensed by Granada Ventures.  
サンダーバードネオ X X



©テレビ朝日・東映  
パチスロ 暴れん坊将軍

# 2007年3月期 損益計算書



## 前期対当期比較

単位：百万円、%

	2006年3月期		2007年3月期		構成比 増減	増減要因等
		構成比		構成比		
売上高	40,447	100.0	39,404	100.0	---	<p><b>売上総利益率</b> 部材のリユース効果、 販売機種のパネル比率上昇 による利益率向上</p> <p><b>販管費</b> 広告宣伝費の増加 (前期比 + 1,382百万円)</p> <p>研究開発費の増加 (前期比 + 783百万円)</p>
売上原価	23,460	58.0	20,832	52.9	5.1P	
売上総利益	16,987	42.0	18,572	47.1	+ 5.1P	
販管費	8,580	21.2	11,500	29.2	+ 8.0P	
営業利益	8,406	20.8	7,071	17.9	2.9P	
営業外収益	174	0.4	136	0.3	0.1P	
営業外費用	27	0.1	60	0.2	+ 0.1P	
経常利益	8,554	21.1	7,148	18.1	3.0P	
特別利益	38	0.1	94	0.2	+ 0.1P	
特別損失	23	0.1	102	0.3	+ 0.2P	
税前当期純利益	8,569	21.2	7,140	18.1	3.1P	
税金費用	2,996	7.4	2,837	7.2	0.2P	
当期純利益	5,572	13.8	4,302	10.9	2.9P	

# 2007年3月期 貸借対照表



## 前期対当期比較

単位：百万円、%

	06年3月期		07年3月期		増 減	増減要因等
	金 額	構成比	金 額	構成比		
流動資産	32,243	77.0	32,087	72.0	156	<b>現金預金</b> ジャスダック上場に伴う 増資など
現金預金	19,374	46.3	22,845	51.2	+ 3,471	
売上債権	9,235	22.1	6,331	14.2	2,904	
固定資産	9,632	23.0	12,484	28.0	+ 2,852	
有形固定資産	7,263	17.3	9,239	20.7	+ 1,976	
資産合計	41,875	100.0	44,571	100.0	+ 2,696	<b>売上債権および仕入債務減少</b> 07年3月末は受注残少なく 売上債権と部材等の 仕入債務の減少
流動負債	13,136	31.4	6,035	13.5	7,101	
仕入債務	7,693	18.4	3,451	7.7	4,242	
固定負債	935	2.2	1,063	2.3	+ 128	
負債合計	14,072	33.6	7,099	15.9	6,973	
純資産合計	27,802	66.4	37,472	84.1	+ 9,670	

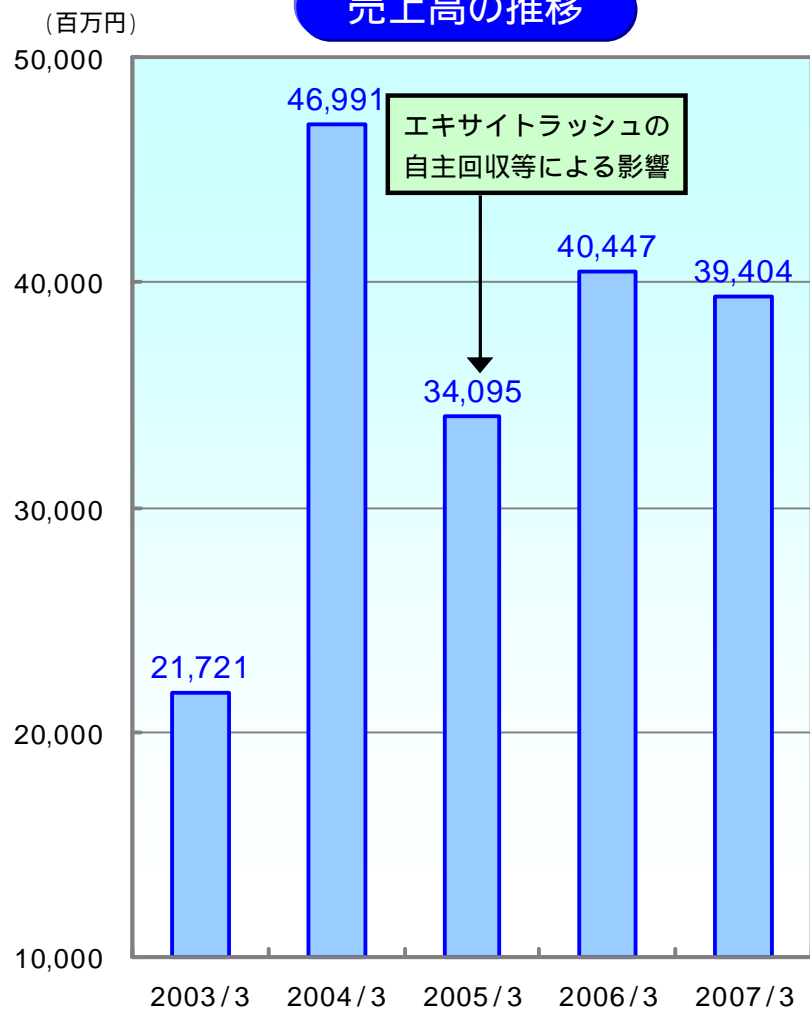


# 業績推移

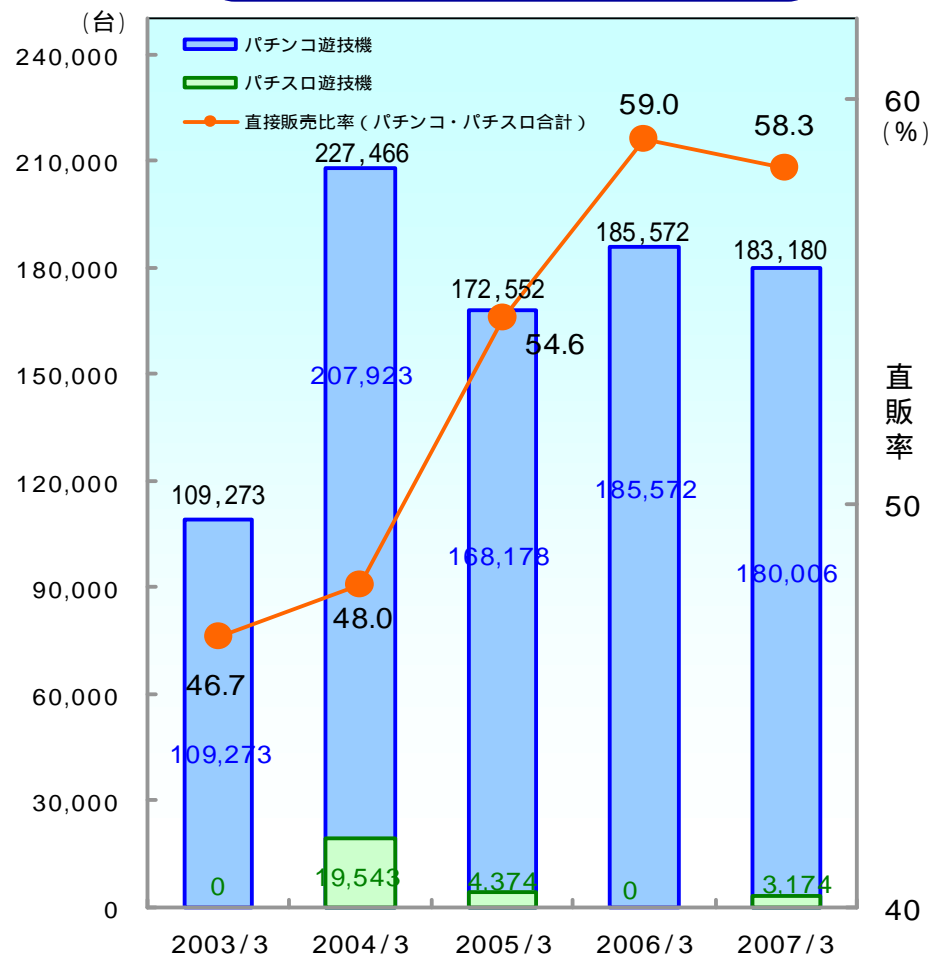
# (売上高・販売台数等)



### 売上高の推移



### 販売台数および直接販売比率



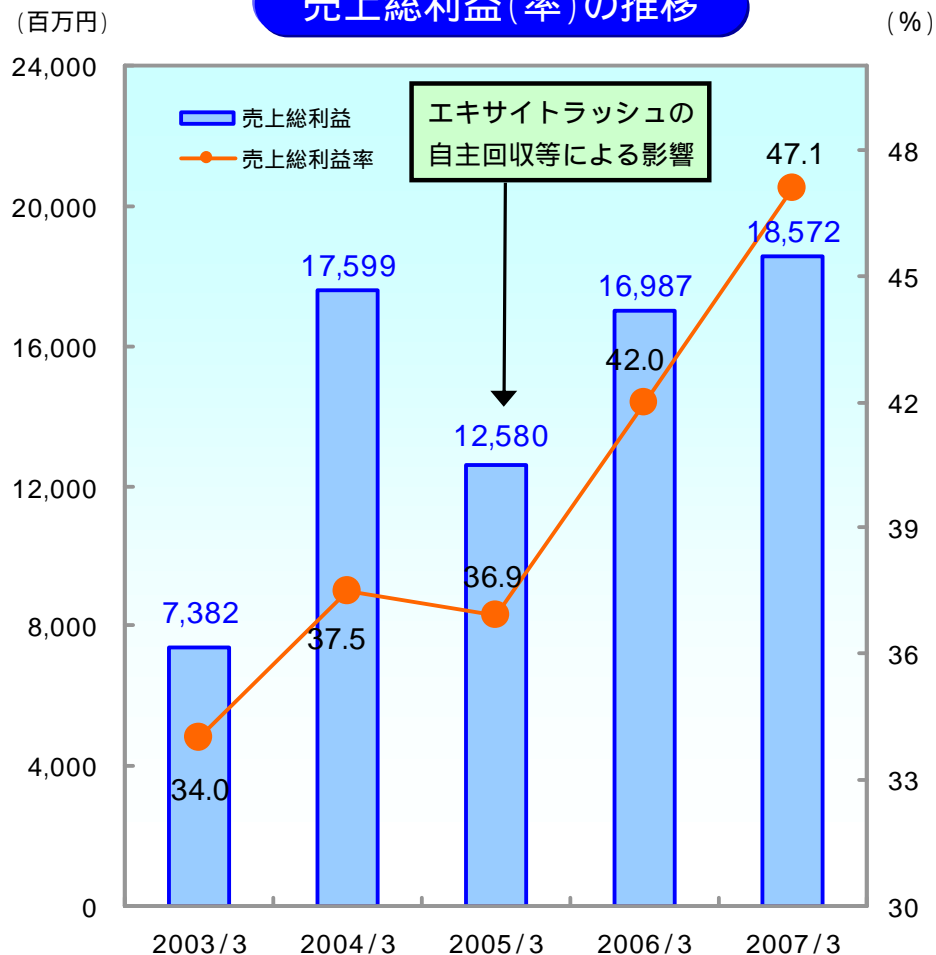
パチンコ遊技機 発売機種数	4	6	5	6	8
パチスロ遊技機 発売機種数	0	2	1	0	2
営業拠点数	14	14	17	18	19



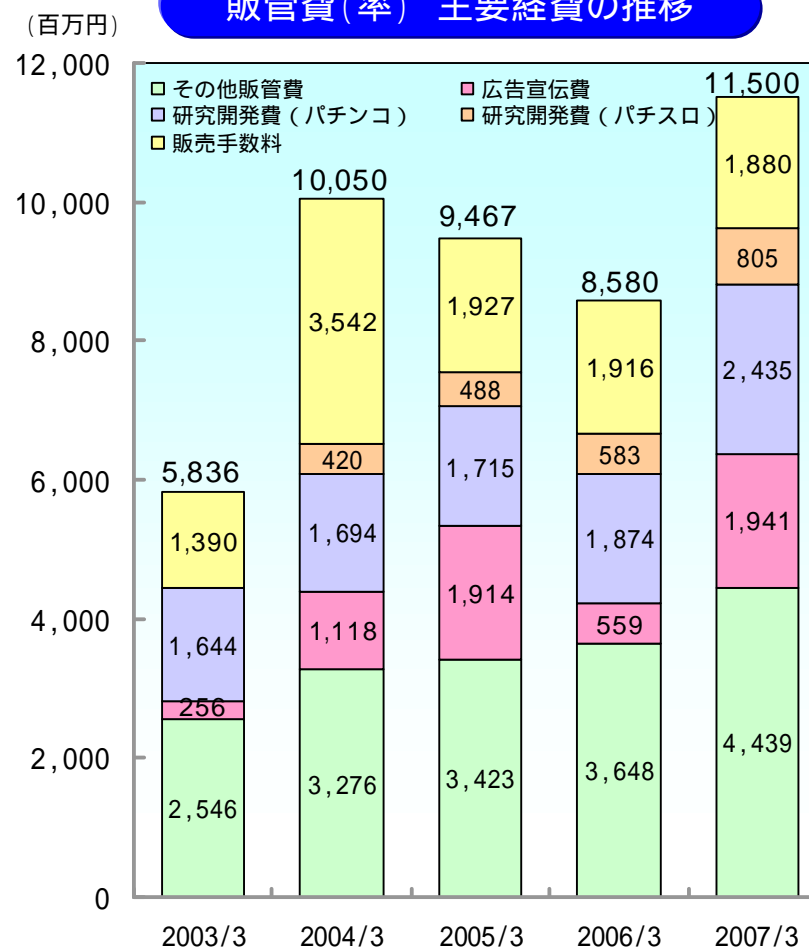
# 業績推移 (売上総利益・販管費)



## 売上総利益(率)の推移



## 販管費(率) 主要経費の推移



全社人員	209名	254名	292名	312名	358名
営業人員	114名	130名	149名	159名	186名
開発人員	55名	63名	74名	85名	102名

販管比率	26.9%	21.4%	27.8%	21.2%	29.2%
手数料率	6.4%	7.5%	5.7%	4.7%	4.8%
広告宣伝費率	1.2%	2.4%	5.6%	1.4%	4.9%
開発費率	7.6%	4.5%	6.5%	6.1%	8.2%

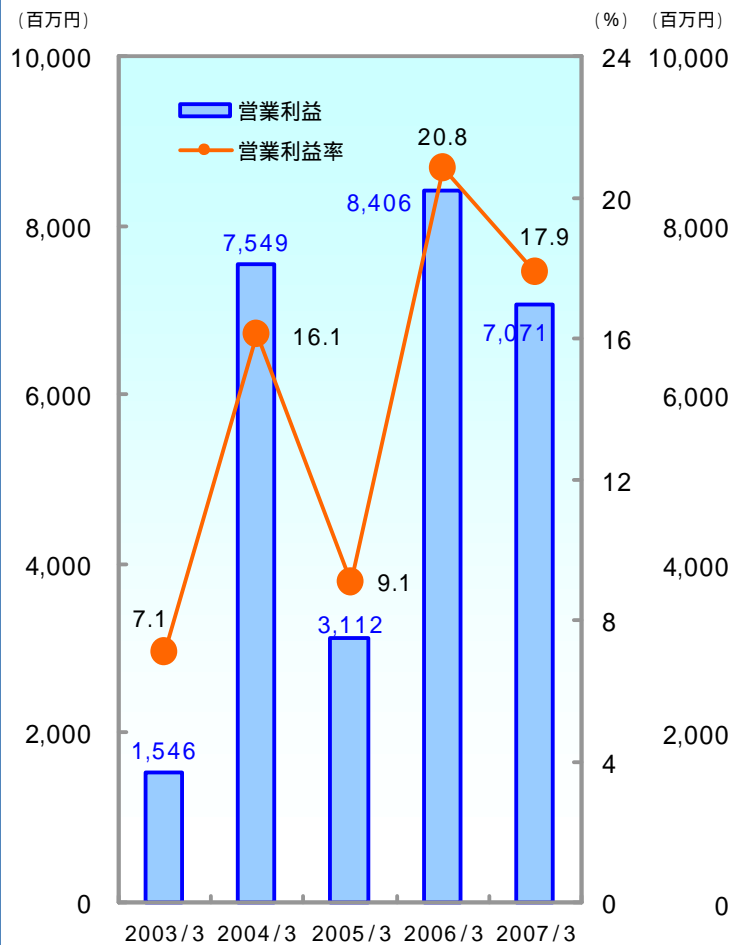
各比率は、売上高に対する比率



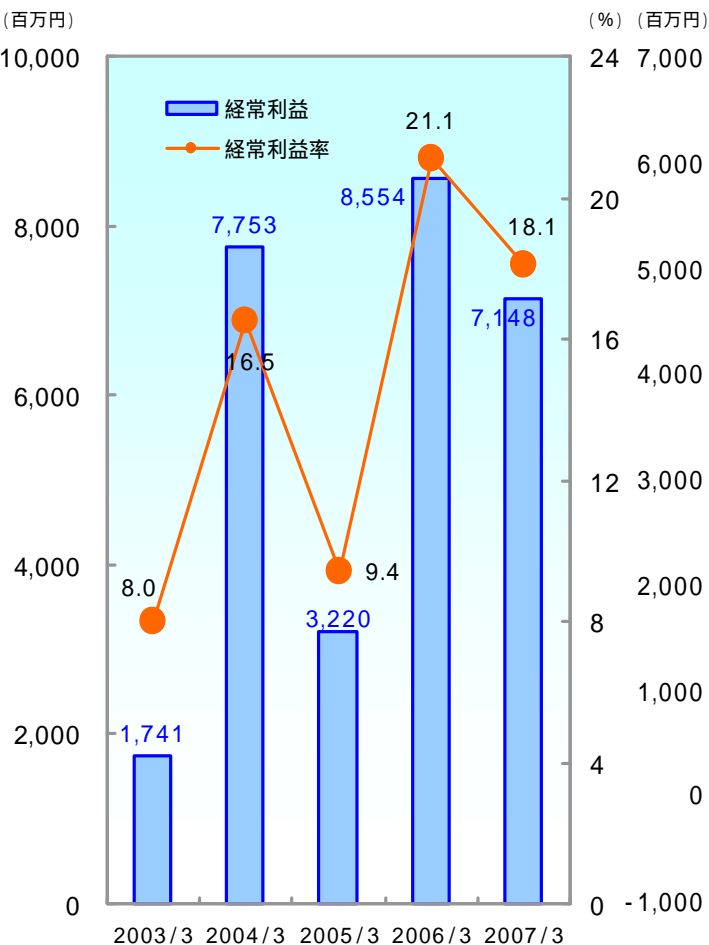
# 業績推移 (営業利益・経常利益・当期純利益)



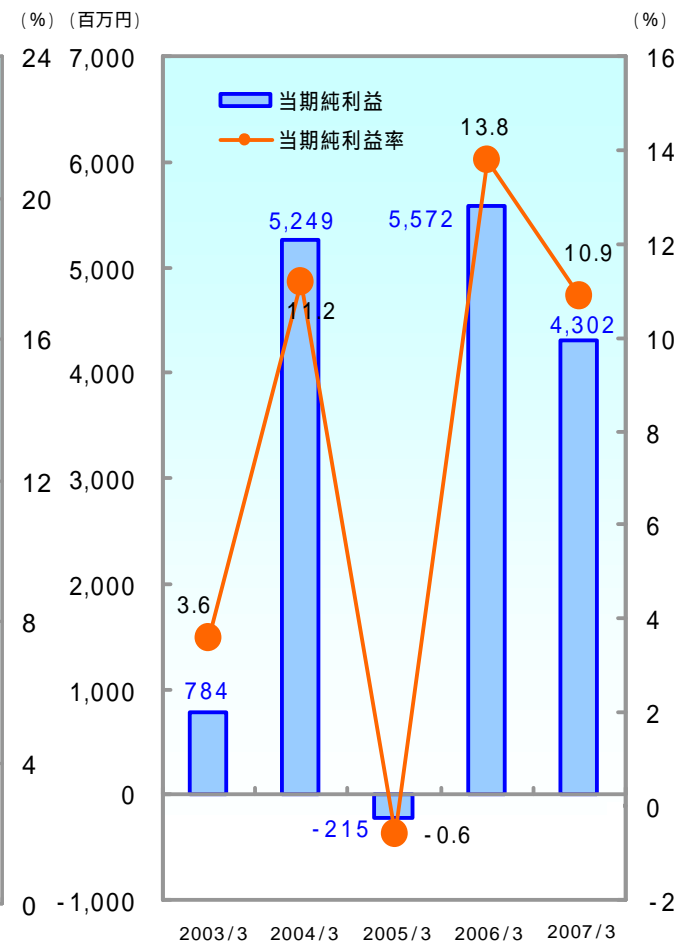
## 営業利益(率)の推移



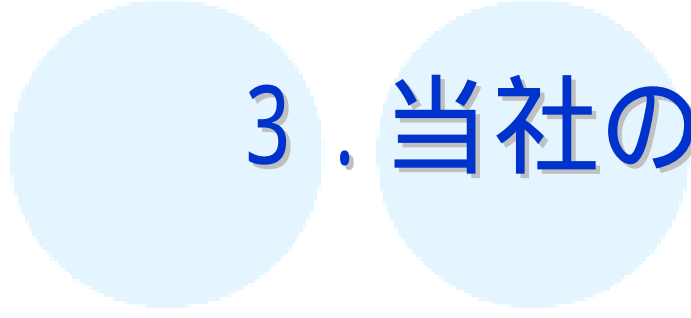
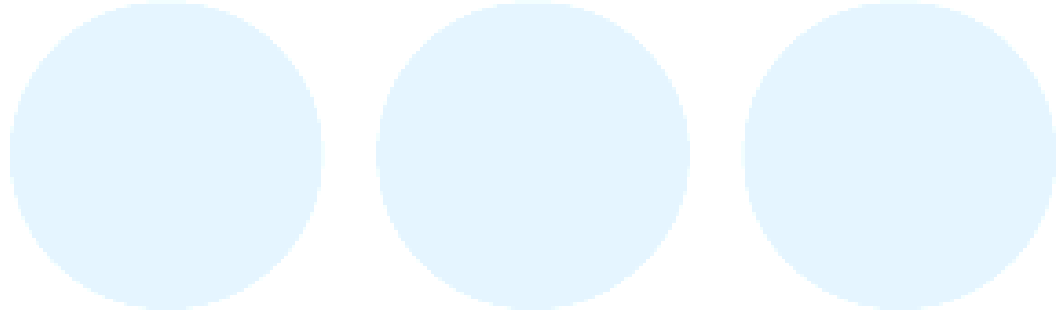
## 経常利益(率)の推移



## 当期純利益(率)の推移







### 3. 当社の強み



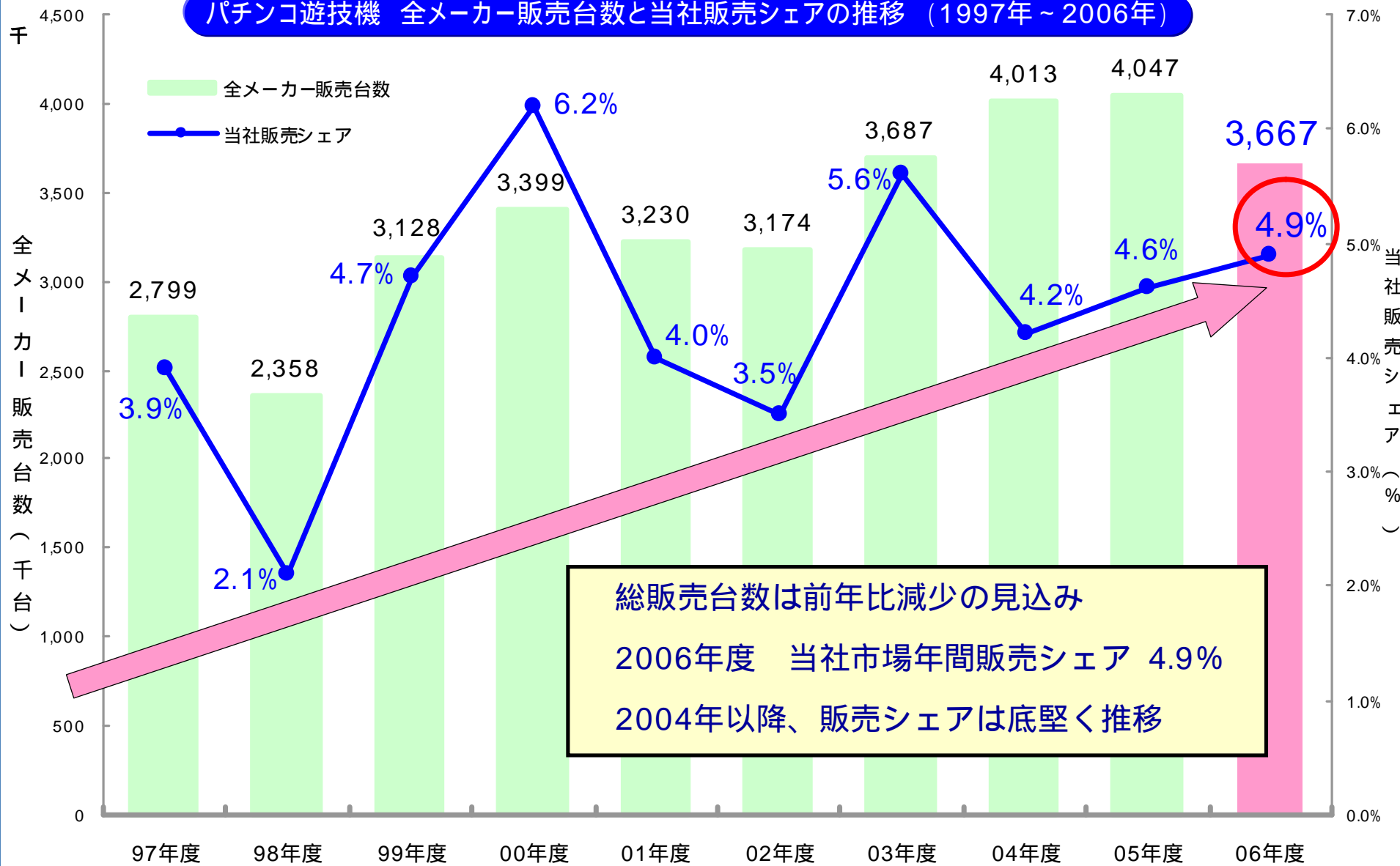
FUJI



# 当社の成長戦略（版権力 + 開発力）



### パチンコ遊技機 全メーカー販売台数と当社販売シェアの推移（1997年～2006年）

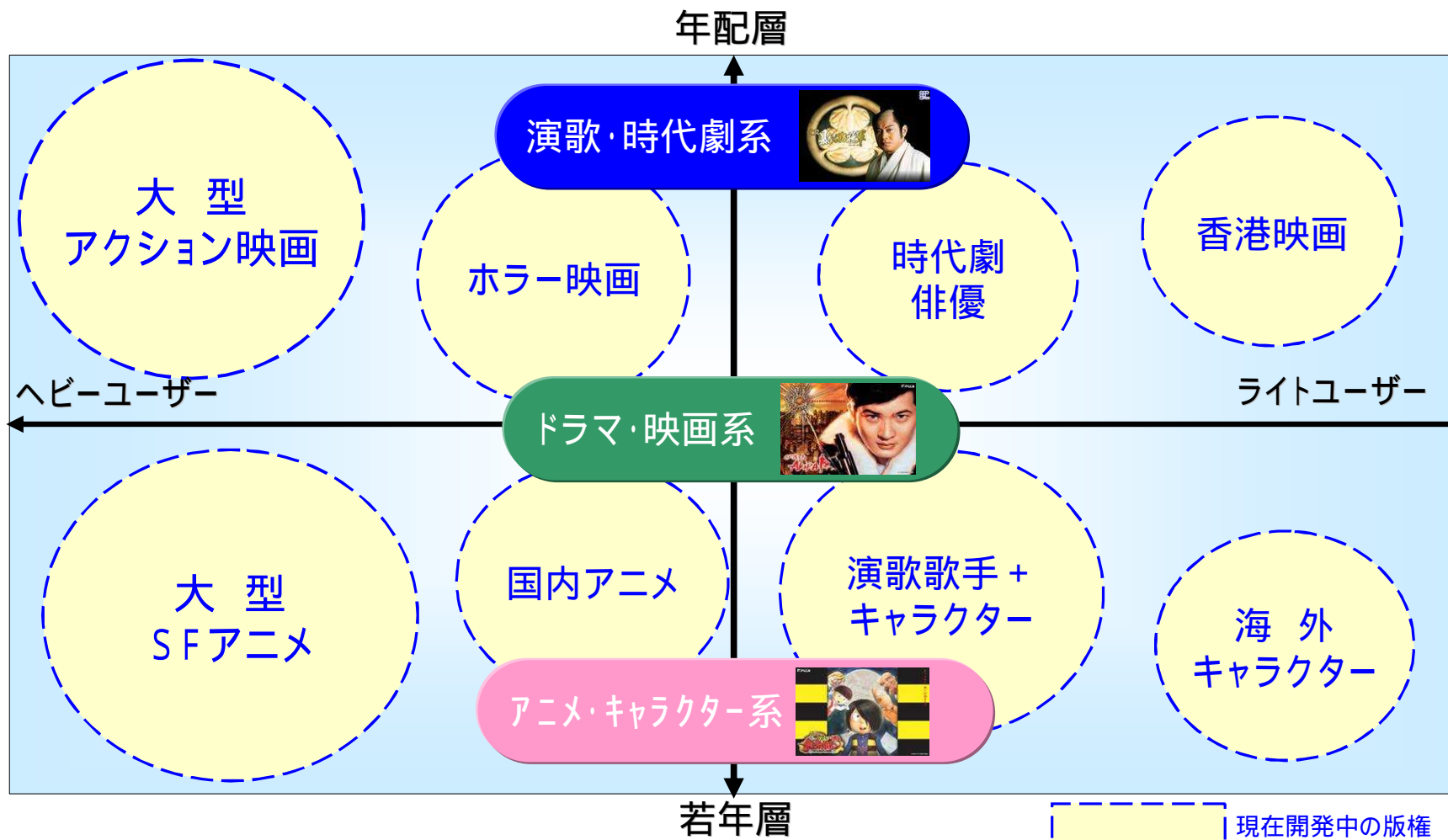


総販売台数は前年比減少の見込み  
 2006年度 当社市場年間販売シェア 4.9%  
 2004年以降、販売シェアは底堅く推移

データ出所：矢野経済研究所 06年度は当社推定値

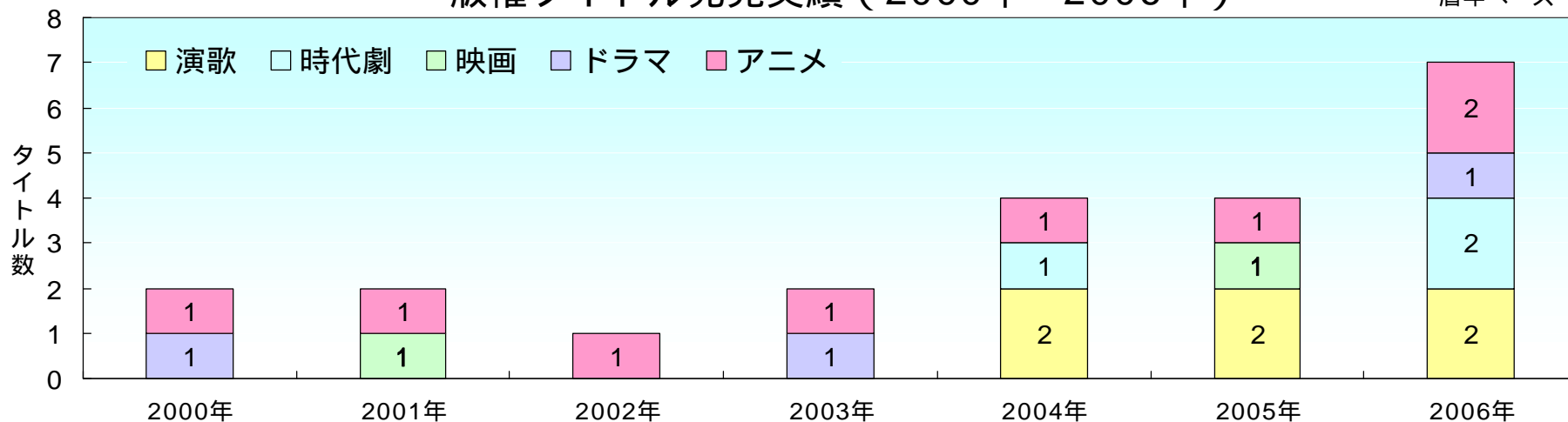


有名著作権への着目とキャラクター重視の開発  
あらゆるファン層をターゲットとした著作権の戦略的活用



## 著作権タイトル発売実績（2000年～2006年）

暦年ベース



ゲゲゲの鬼太郎 サンダーバード	じゃりん子チエ ゴーストバスターズ	ダーティペア	おいっ鬼太郎 サンダーバード2	暴れん坊将軍 松居直美 水前寺清子 ピンクパンサー	吉幾三 杉様のこれにて大当り キョンシー 赤胴鈴之助	渡り鳥AKIRA ゲゲゲの鬼太郎3 マツケンサンバ サンダーバード ピンクパンサー 暴れん坊将軍2 大江戸捜査網
--------------------	----------------------	--------	--------------------	------------------------------------	-------------------------------------	--

**多種多様なジャンルの有力著作権を保有**

未使用保有タイトル数 30タイトル以上（07年5月現在）

今後、数年分の販売機種タイトルを確保済

**人物系著作権の実写撮り下ろし**

特に**時代劇・演歌歌手**などの著作権で効果を発揮



パチンコ遊技機	風営法等に係る規則改正への対応力	可動役物等、新規性・独創性あるゲーム感覚の機種開発に注力
	ホールとのコミュニケーションを重視した開発スタイル	営業・開発部門を通じたホールリサーチの強化により、市場ニーズを吸収
	コンカレント・エンジニアリングの活用	製品開発を同時並行的（コンカレント）に行う、高コストパフォーマンスの開発スタイル
	開発拠点の分散化	名古屋・東京・大阪のそれぞれの拠点にて、オリジナリティある機種開発を推進
パチスロ遊技機	じゃん球・アレンジボール パチンコ遊技機などのノウハウ活用	多様な遊技機を手がけて培った技術を活かした機種開発
	開発体制の強化	2007年1月、東京開発事業所を自社ビルへ移転 開発設備の充実、開発スタッフの増員に対応



# 当社の強み 営業力・生産能力



営業力	全国19拠点の営業体制	北海道から九州まで、全国を網羅 地域特性に即した販売
	関西圏におけるプレゼンスの高さ	アレンジボール遊技機のヒット（エキサイト・アレジン）と パチンコ遊技機事業への参入により、 『関西の遊技機メーカー』としての認知度が向上
	高水準の直販比率（約60%）	全国19拠点による営業拠点体制
生産能力	業界上位の生産能力	パチンコ遊技機 現状 日産3,000台体制 08年3月期 新枠ライン・日産4,000台体制に移行予定
	コスト競争力	開発との連携による、リユース可能な製品設計の推進 部材・ユニット部品の共通化 リユース部材の回収システムを構築
	優良仕入先の確保	協力会社との連携を密にした生産対応 機敏な生産調整を実現
	ISO9001認証取得	品質マネジメントの徹底による顧客満足度の向上



## 4. 今後の方針



FUJI

### ターゲット

#### 中期目標

1. 安定した企業基盤づくり
2. 年間販売台数30万台以上の体制確立

#### 単年度目標

1. 業績管理体制の整備
2. パチスロ事業体制の強化・確立
3. 生産・供給体制の強化
4. 人材の育成

各部門の重点施策推進により、  
遊技機メーカートップグループ参入をめざす





### 業績計画の着実な達成に向けた各部門の目標管理を強化

#### 開発部門

- ・ 協力会社も含んだ組織の見直しや管理体制の強化
- ・ 開発期間のさらなる短縮化、商品力の底上げと機械供給数の確保

#### 製造部門

- ・ 新枠導入に伴う製造ラインの移行をスムーズに実現  
新枠機種の販売活動を最大限にバックアップ
- ・ 部品共通化のさらなる推進と部品を回収、再利用するリユースシステムにより、利益率の向上を図る

#### 営業部門

- ・ 全国19拠点の販売網をフル活用し、各パチンコホール様の営業形態や地域特性等に対応
- ・ 高い直販率をいかし、きめ細かな提案営業による顧客満足度の向上



## 新規則対応機（5号機）の入替動向 当社予測

入替時期	台数	
07年5月時点	60万台（入替済）	
6月～7月	90万台前後	} 一部はパチンコ機へ設置機種変更も （島設備改造等の資金負担増加）
8月～10月	30万台前後	

## 当社の施策

新機種投入機種数の増加（前期2機種 今期最低4機種）  
1年を通じてコンスタントに新機種を投入

パチスロ機の販売システム『リプライスシステム』の導入  
継続購入により、資金負担を軽減するシステム



多品種・短納期が可能な生産力の増強

新枠ラインの設置（2007年秋 竣工予定）

パチンコ 日産 4,000台に増強

新工場の稼働（2009年3月期 竣工予定）

生産可能台数 パチンコ 日産 5,000台

パチスロ 日産 1,000台

販売機会を逃さず

ヒット機種<sup>®</sup>の短納期・大量導入に対応

『企業は人を育てる器』という思想に基づいた、  
風通しの良い組織づくりを推進

社員教育体系の構築

継続的な教育活動によるモラル・コンプライアンス  
意識の育成

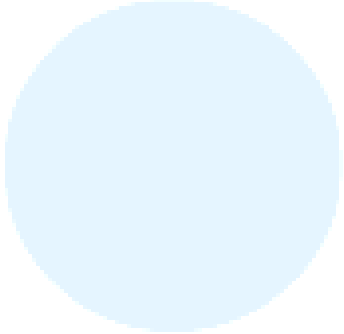
C S R（企業の社会的責任）の観点に基づいた  
社会貢献活動

A large blue downward-pointing arrow.

公開企業にふさわしい人材づくりを推進



5. 2008年3月期 業績計画



FUJI

# パチンコ・パチスロ市場の推移



(注) 06年度 パチンコ販売台数は当社推定値。「---」は5月時点で未発表

項 目		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
参加人口 (万人)		2,170	1,740	1,790	1,710	---
玉貸料 (兆円)		29.2	29.6	29.4	28.7	---
ホール軒数 (軒)	パチンコ機設置店	15,255	14,695	13,844	13,163	12,588
	パチスロ機等専門店	1,249	1,381	1,773	2,002	2,086
	合 計	16,504	16,076	15,617	15,165	14,674
設置台数 (千台)	パチンコ (アレンジ含む)	3,258	3,231	3,082	2,963	2,934
	パチスロ	1,606	1,661	1,887	1,936	2,003
販売台数 (千台)	パチンコ	3,174	3,687	4,013	4,047	3,667
	パチスロ	1,502	1,842	1,672	1,804	---

出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・社会経済生産性本部『レジャー白書』（参加人口・玉貸料）・矢野経済研究所『パチンコ産業白書』（販売台数）

### 今後の市場動向

パチスロ入替需要によりパチンコホール様の一時的な  
資金負担が増加（07年5月～10月）  
パチンコ・パチスロ遊技機の設置比率の変化  
（パチスロ専門店の減少・パチスロ パチンコへのシフトも）

### パチンコ・パチスロ販売台数計画

**パチンコ遊技機 8シリーズ：200,000台**

市場年間総販売台数  
約350万台～380万台と想定  
上期はパチンコホール様のパチスロ入替負担を考慮  
下期に重点を置いた販売計画

**パチスロ遊技機 最低4シリーズ：15,000台**

パチンコホール様の新機種入替に伴う資金負担を軽減する  
販売システム（リプライスシステム）の導入  
コンスタントな新機種投入による当社パチスロブランドの定着

## 2008年3月期 業績計画

単位：百万円

項目	07年3月期実績		08年3月期計画		
	通期		通期		対前期比 増減率
販売台数	183千台		215千台		+ 17.3%
パチンコ	180千台		200千台		+ 11.1%
パチスロ	3千台		15千台		+ 400.0%
売上高	39,404	100%	50,800	100%	+ 28.9%
営業利益	7,071	18.1%	7,750	15.3 %	+ 9.6%
経常利益	7,148	18.1%	7,840	15.4 %	+ 9.7%
当期純利益	4,302	10.9%	4,600	9.1 %	+ 6.9%



お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営企画室

T E L : 06-6949-0323 F A X : 06-6949-3174



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

今後の業績については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。